

学校紹介  
新聞

# 茨城県立土浦第一高等学校附属中学校



- ◆校長 プラニク・ヨゲンドラ
- ◆生徒数 240人
- ◆創立 2021年
- ◆住所 土浦市真鍋4の4の2

さまざまな国の学生と会話をす  
る土浦一高付属中の生徒たち



わが校  
独自  
オンライン

## 外国系学校と文化交流



本校では3年生が外国系の学校と文化交流を行います。今年度はT B I S (東京ベイインターナショナルスクール)の生徒の皆さんと、インタビューなどを通して、日頃それぞれが親しんでいる文化を知ったり、本校の探究学習へのヒントを得たりすることができました。

活動では、新たな発見がありました。インド出身の生徒の方に「日本と海外の文化の違いは」と聞くと、「自分の国の文化も好きだし、日本のマナーや礼儀の文化も素晴らしいから、良いところ取りをしているよ」と答えが返ってきたことが印象に残っています。今回、それぞれの環境によって、いろいろな「当たり前」があることがよくわかりました。お互いの良さを認め合い、自分が知ったことを自分の「当たり前」に還元して、より良い自分や社会をつくっていったらと思います。(3年 細谷まどか)

どんな  
学校です!



学校の三大行事の一つ「高祭(じゅんぎょ)」で、全力で演奏(えんぎょ)に取り組み吹奏(すいそ)楽部の生徒たち

## 文武両道で育つ主体性

土浦一高付属中学校は今年で創立4年の新しい学校です。本校は高校に付属しているため、文武両道の気風が色濃く反映され、生徒主体でさまざまな学校行事を行っており、それを通して企画力や運営力を高めることができます。

また、他校より10分多い60分授業を導入しており、その時間は授業の振り返りを行い理解度を上げたり、高校

の先行学習や本校の英語の授業ならではの「ぐるぐるテスト」を行ったりすることに使われています。さらに、本校では探究学習や国際交流など、課外学習にも力を入れており、授業などで習うだけでなく実践に生かせる環境がつけられています。

1学年80人と少数ですが、個性が豊かな仲間たちと授業、部活、課外学習、委員会など全てに全力を注ぎ、楽しく学校生活を送っています。(3年 山口悠之)



ぐんぐんと  
カリキュラム

プレゼンテーションコンテストで、堂々(どうどう)と英語で発表する生徒たち=土浦市内

## トップクラスの英語力



土浦一高付属中は英語を重視しています。毎回の英語の授業でプレゼンテーションやグループワークがあり、県内でもトップクラスの英語力が身に付きます。

私は茨城県主催の「英語プレゼンテーションフォーラム2024」に参加しています。今回のテーマは「SDGsの観点から、自分たちが茨城県をよりよくするためにできること」です。解決しないといけない問題を教育や環境などさまざまな視点から考えた結果、小学校時代に使った参考書を集め、近隣の小学校に寄付し、外国語の授業にアシスタントとして参加する、という取り組みをしました。そのことを英語で発表します。プレゼンのメンバーは英語に情熱的で、私も刺激を受けながら練習をしています。英語の先生だけでなく、ALTの先生や校長先生からもアドバイスを頂けるので、英語力が相当向上します。(3年 宇賀方結)

がんばっています!



7月の県大会で、中間の声援(せいえん)を受けながら力走する土浦一高付属中の選手(右から3人目)=笠松(かさまつ)運動公園

創意工夫して日々練習



土浦一高付属中陸上部では、自分が選んだ種目の記録を伸ばすため、日々練習に励んでいます。練習内容は自分たちで考えて、創意工夫して行っています。

例えば、坂道ダッシュをして走り込みをしたり、雨天時は屋内で筋力トレーニングをして、けがをしにくい体づくりをしたりしています。自分たちのフォームを撮影して課題を見つけ、より良い走りができるように心がけています。今年の県総体では、2年男子100m、共通男子200m、共通男子3000mで関東大会への切符を勝ち取り、学校対抗で第4位という成績をおさめることができました。関東大会では、自己ベストを出して入賞できるように練習を積んでいきたいです。また、自分自身は全国大会への出場が決まりました。これは陸上部全員でつかみ取った成果だと思います。大会では陸上部の代表として、全力を尽くします。(3年 古谷哲史)

次回は9月11日 茨城県立大子清流高校です

いつでも  
どこでも

茨城新聞 ダブルプラン

# 茨城新聞 + 電子版 セット

スマホや  
タブレットで

紙の新聞は自宅で読みたい。  
県外の出張先でも読みたい。  
受験や就活中の子どもにも読ませたい。  
そんなあなたにぴったり!

新聞購読料+月額300円(税込)

合計月額4,100円(税込) ※電子版単体の場合は月額3,500円(税込)

電子版の魅力

独自記事 /

デジ缶

紙面に入りきれない内容を提供する電子版オリジナルコンテンツ。日本選手大リーグなどスポーツの話題から政治問題、社会問題まで幅広く旬の話題がぎゅっと詰まった\*缶詰。です。

電子版コラム

連載コラム「好文木」(毎週水曜配信)では自慢の執筆陣が独自の視点で県内の話題や世相に斬り込みます。

写真で見る茨城

茨城新聞社のカメラマンが撮ったよりすぐりの決定的な瞬間を紹介します。

速報 /

トップページの「総合」に速報記事をアップ。記事はカテゴリ別に並び、地域面は「県北」「県央」「県西」「県南」「鹿行」に分かれています。お気に入り記事の保存も簡単。

県内情報 /

県教職員人事は学校名や先生名ですぐに検索ができます。釣り情報は県内の各釣場でも何が釣れるかが分かって便利。イベント情報はどこよりも詳しく、近県情報も盛りだくさん。

紙面ビューア /

新聞の紙面をスマホやタブレットで読める機能です。バックナンバーは過去1カ月分に対応。気になった記事はクリッピング機能で保存できます。クリッピング機能とは紙面の保存サービスです。



(ダブルプランお申し込み時の注意事項)

- ご自宅に茨城新聞販売店から定期購読している個人の読者様限定です。 ■茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。
- お申込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。 ■茨城新聞をご契約の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。
- 電子版の利用期間は月単位となります。月中でのお申込みの場合、その月は無料で利用できます。また、電子版の日割り精算は受け付けておりません。
- 茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。

茨城新聞ダブルプランのお申し込みはこちら→

【お問い合わせ】茨城新聞社販売局 Tel.029(239)3030 平日9:30~17:00

